第31回全国下水道促進デー

未来の水はきれいかな？

今年の夏は全国的な水不足で、水資源に対する関心が高まりました。

この代表として、香川県の現状と四国の水瓶「早明浦ダム」の渇水状況がテレビ・週刊誌や新聞などで大きく報道されました。また、不足した水を補うため、一部の地域では、公園の緑や池に下水の処理水を流用水として使用し、私たちの快適な生活環境の一つである緑や魚の住む水を守り、下水の処理水が再び水資源であることを間近に感じる夏でした。

南国市の下水道事業は、市民のみなさんのご理解、ご協力のもと、整備は順調に進み、平成六年四月には延べ面積約百二十ha（十市処理区五十六ha、流域関連処理区六十四ha）で、約三千九百人の方に下水道を利用していただけるようになりました。しかし、このうち実際に下水を使用している方は二千人でまだまだ少ない状況です。

下水道事業受益者負担金を賦課さしていただいた方で、実際にその賦課された土地で生活・事業をされている方、いろいろな問題はあると思いますが、一日でも早い下水道への接続で、下水道の役割りである「水資源保全施設」の機能が果たせることができるようよろしくお願いします。

小学生の下水道処理場見学作文

南国市十市浄化センター　宮西明知

ぼくが、浄化センターを見学に行ってよかったことは、いろいろな機械を見れたことです。それにいい勉強になったと思います。いろいろなことがわかったし、水をきれいにするには、すごく時間がかかるんだな、と思いました。

浄化センターを見学に行って、最初、おじさんが、きたない水の中にいるバクテリアがきたないよごれやごみを食べてくれると言ったので、ぼくは、（ふうん）、と思いました。バクテリアの種類は、アルセラ、ポルティセラ、ロタリア、エピスチリスでした。

その次に、テレビを見せてくれました。テレビで、人間が動物や川にどれだけ被害を与えたかということがよくわかりました。でも、下水道ができて、かもの親子が池にもどってきてほんとによかったと思いました。あの時、下水道が作られなかったら、かもの親子はたぶんもどってこれなかったと思います。

その次に沈砂池を見に行きました。そこにはきたない水から取り出したものすごく臭いごみがありました。それから、浄化センターの中で一番だいじな所、「エアレーションタンク」を見ました。この中に浮かんでいる泡みたいな物は、ぼくは最初、きたない水のよごれだと思っていました。でもおじさんが、「この上に泡かんでいるのが、虫です」と言ったので、ぼくは、「えっ」、と少しビックリしました。それから、第一ローター、第二ローターを見せてもらいました。「これは中の水を時計回しに回す水車です」と言ってくれました。

これからは、水を粗末したり、水を大事に、水をあまりよごさないようにしたいです。

浄化センターのしくみ　土居ゆか

私たち四年生は、五月十二日、十市浄化センターに見学に行きました。

十市浄化センターのおじさんの話では、一軒で使っている水はなんと（一か月平均二万三千㎥）だそうです。それが、全部ここへ流れてきます。私は一軒ですごい量の水を使うんだなと驚きました。まず、流入ゲートに、お風呂の水や食器を洗った水やトイレの水などが入ってきます。流入ゲートは、地下七～八mのところにあります。浄化センターには、一日、五百㎥～二千四百㎥も流れてくるそうです。

エアレーションタンクは、ボルテノセラやエピスチリスという目に見えない小さい虫に、きたないごみやバイ菌を食べてもらっているところです。だから、よごれがとれて水がきれいになるのです。

次の、最終ちんでん池では、こいを飼っていて、よく見るとまん中にごみがたまっていました。底の方は緑色になっていたけど、その外がわはきれいな水になっていました。ここでは、こいが泳ぐことができるくらいきれいになっているのです。

えんそこんわ池では、えんそという薬を入れて、最終ちんでん池から送られてきた水を消毒するところでした。えんそこんわ池は私たちのプールに入れる薬みたいな臭いがしました。浄化センターに行って下水がどのようにしてきれいな水になるかということと、この仕事のたいへんさがわかりました。だから油やきたないごみはそのまま流してはいけないんだと思いました。

（紙面の都合上、十市小学校四年生代表としました）

特別児童扶養手当

身体または精神に障害のある児童（二十歳未満）を養育している保護者に対し、特別児童扶養手当が支給されます。

◪**1級**　身体障害者1～2級、3級の一部、療育手帳A1・A2（重度）
◎**支給額**　月額　4万7千800円

◪**2級**　身体障害者3級、4級の一部、療育手帳B（中度）
◎**支給額**　月額　3万1千860円

※障害児が施設入所の場合、所得が一定以上ある場合、公的年金を受給している場合は支給されません。

お問い合わせは**福祉事務所社会係**（☎市役所内線162）まで

秋の全国交通安全運動

九月二十一日(水)から、三十日(金)まで行われます。

◆**今年の重点目標**
①シートベルトの着用の徹底
②飲酒運転の追放

◆**全国交通安全年間スローガン**
事故は瞬間　ベルトは習慣
止まるはず　老いの甘えが招く事故

交通事故の防止は家庭や地域から

最近の交通事故の現状に、高齢者絡みの交通事故が増えています。運転免許取得者のうち、一人に一人が六十五歳以上の高齢者で、交通社会にも高齢化の側面が見られる中、車を運転中の事故が激増し、その増え方が際立っています。

高齢者による交通事故の特徴は、何らトラブルのない道路で、電柱・信号機・街路樹やガードレールに全くブレーキをかけずに衝突しています。

瞬間的に居眠りをしていたとしかおもえないような原因による事故ばかり、いずれのケースも、運転していた高齢者は、なぜ自分が衝突したかわからないとほう然としています。

交通を取り巻く状況は、高齢に時代のまっただ中。高齢ドライバーは、自らの健康状態に配慮し、十分な睡眠と休養をとり、ゆとりある運転を心がけてください。

また、歩行者・自転車利用の高齢者についても、基本的なルール無視や、不注意、また泊断などをしないで、交通社会人としての責任を十分に自覚してください。

高齢者の交通事故防止を重点目標に掲げ、家庭や地域から交通事故をなくしましょう。

9月1日(木)は
防災の日
万一の災害にみんなで備えましょう。

さわやかさん

徳橋佳子さん・俊幸君（久礼田）

平成3年、結婚を期に高知市から久礼田に来た徳橋さん。最初は戸惑いもあったようですが、この6月に長男も誕生し、今では幸せいっぱい。「友だちと離れるのはさみしかったですね。でもここで友だちができたし、家族にも近所の人にもかわいがってもらってます。炊事などあまり得意ではないのですが、お母さんに助けてもらえるのでずいぶん助かっていますよ」と生まれたばかりの俊幸くんをあやしながら話す徳橋さん。「自分の子がこんなにかわいいと思いませんでした。すっかり子供中心の生活ですよ、親バカですね」と言うように、我が子を目の中に入れても痛くないといったようす。

「この子が大きくなったら、家族で一緒にコンサートや舞台を見に行きたいと思っています。そのときはぜひ南国市のホールで見たいですね。また、オフィスパーク事業で来る会社に、託児所があったり、女性にとって労働条件のいい職場であれば働きに出たいです」とこれからの南国市への期待を語ってくれました。

9月9日は救急の日

この日を含む一週間は「**救急医療週間**」と定められています。

市民の救命率を高めるために、救急隊が着くまでの適切な応急手当の必要性が叫ばれるなか、消防署では、一般住民に対する実技指導を中心とした救急法の指導を行っています。

また、自家用車などで、医療機関に行かれる場合など、お気軽にご相談ください。

※日曜・祝祭日・夜間の医療機関のお問い合わせは、救急医療情報センター（☎㊗1299）

※119番は緊急電話なので、救急車の搬送先、火災時の問い合わせなどは加入電話（☎㊗3511）へ

平成６年度
南国市戦没者合同慰霊祭
１０月１１日(火)　午後１時～
ところ　ホリデイホール